

名古屋市立大学大学院 博士課程 学位申請提出書類チェックシート

※学位申請の概要に関しては、このチェックシートだけでなく、手引きも必ず確認してください。

番号	チェック	提出書類	部数	作成要領
1	☐	学位授与申請書	1	☐ 申請年月日は記入しないこと ☐ 専攻名は所属分野ではなく、「生体機能・構造医学」、「生体情報・機能制御医学」「生体防御・総合医学」「予防・社会医学」のいずれかを記入すること ☐ 氏名は戸籍と同じ書体とすること
2	☐	履歴書	6	☐ 報告番号は記入しないこと ☐ 氏名は戸籍と同じ書体とすること ☐ 生年月日は和暦で記入すること（外国籍の場合は西暦でよい） ☐ 本籍は都道府県名のみ記入すること（外国籍の場合は国籍を記入すること） ☐ 学歴の期間は確認のうえ正確に記入すること ☐ 休学期間がある場合は明記すること ☐ 早期課程修了者は「早期課程修了見込」と記入すること ☐ 修了月日は3月31日または9月30日とすること ☐ 11ポイント程度を用いて作成すること
3	☐	論文目録	6	☐ 共著論文は共著者名を記入すること ☐ 学位論文が印刷公表されていない場合は、採用（accept for publication）または印刷中（in press）の現況を記載すること ☐ 各論文の邦題もあわせて記載すること ☐ 参考論文は1編以上3編以内で記載すること ☐ 複数枚になる場合は左上一か所をホッチキスで止めること ☐ 11ポイント程度を用いて作成すること
4	☐	学位論文（1編）	10	☐ 論文が印刷公表されていない場合は、最新の現行で提出すること。ただし採用（accept for publication）または印刷中（in press）が証明できる書類（ウェブサイトやメール等）を6部添付すること ☐ 大学院博士課程入学日以降に投稿・採用された論文であること ☐ 部数ごとに左上一か所をホッチキスで止めること（両面印刷可）
5	☐	参考論文（1～3編）	6	☐ 申請者がかかわった原著、総説、著書等（ただし、総説、著書は申請者が筆頭の場合）とする。内容は学位論文に関係がなくてもよい ☐ 別刷が不足する場合は、コピーを提出すること ☐ 大学院博士課程入学日以降に投稿・採用された論文であること。ただし、MD-PhDコースに在籍する学生については、MD-PhD取り扱い内規第10条第2項に基づき、前期コース修了時に承認された論文を提出してもよい ☐ 部数ごとに左上一か所をホッチキスで止めること（両面印刷可）
6	☐	論文内容の要旨	6	☐ 研究の目的・方法・結果等について学位論文の概要が把握できるよう2000字以内に内容をまとめること。ただし、図、表および写真は挿入しないこと ☐ 表紙・中表紙・本文の順に左上一か所をホッチキスで止めること ☐ 博士学位論文の要旨集作成原稿となるので、誤字等の無いうち注意すること
7	☐	承諾書・誓約書（共著論文の場合）	1	☐ 共著者1名につき1通用意すること ☐ 申請者名（宛名）や論文タイトルの記入漏れに注意すること
8	☐	研究分担報告書（共著論文の場合）	6	☐ 学位論文にかかる研究において、申請者、共著者が担当した内容をまとめ、別紙様式に従い作成（A4）すること。記載方法は自由で箇条書きにしてもよい
9	☐	履修簿	1	☐ すべての履修科目に単位認定教員の認定印があること
10	☐	データファイル（CDまたはDVD）	1	☐ 1「学位論文」、2「論文内容の要旨」、3「Abstract」の3点をPDF形式で保存すること ☐ 保存するファイル名、Abstractの形式については手引きを確認すること
11	☐	※公聴会終了後 学位論文公開申請書（留保）	1	☐ 公聴会終了後、医学部事務室に提出すること ※名古屋市立大学医学研究科博士課程の学位論文に関しては未公表の原著論文であることが条件となり、著作権は出版社等に帰属するため、すべての申請者に公開（留保）の書類を求めている。